

発行：愛知県社会保障推進協議会 TEL:052-889-6921 FAX:052-889-6931  
E-mail: syahokyo@airoren.gr.jp ホームページ <http://syahokyo.airoren.gr.jp/>

## 75歳以上医療費窓口負担2割化中止！高齢者の怒り炸裂!! 4月25日 75歳以上医療費2倍化中止!!大宣伝行動、Twitter デモ



東京・新宿東口に100名の参加で宣伝行動が配置された。各地での開催も呼びかけられた。

また、4月25日(月)のTwitterデモが始まった。いのち暮らし社会保障立て直せ一斉行動として12時と17時にスタートした。

緊急団体署名が提起され、地元国会議員への働きかけなど提起された。

### Twitterデモ

4月25日(月)

①12時スタート ②17時スタート



#後期高齢者の医療費2割化やめて  
#コロナ禍で病院を減らさないで  
#保健所と保健師をふやして

いのち・暮らし・社会保障立て直せ一斉行動

それに先立ち…

4月21日(木)75歳以上医療費窓口負担2割化は中止を！国会署名提出集会が開かれた。



国会・参議院議員会館まえで行われた。主催は、中央社保協、全日本年金者組合、日本高齢期運動連絡会、医療団体連絡会によるもの。現地には150人が参加し、YouTubeで配信され50か所から参加があった。75歳医療費2倍化中止署名は、当日71,406筆、累計で647,039筆と報告された。愛知からは、保険医協会の代表8名が参加し、板津副理事長が署名の到達は9000筆、目標の5万筆をめざすと決意表明がされた。

← 団体代表から署名を受け取る宮本徹共産党議員

## すべてのケア労働者に大幅賃上げを！4万円以上、時間給250円以上の賃上げを

4月25日 15時から愛知県医労連は厚労省へオンラインで38,243筆の署名を提出した。



看護、介護の現場から生の声を聴いて欲しいと、愛知県医労連6名、北海道医労連2名が訴えた。「対象を限定しないで」「この額では一桁足りない」「なぜ診療所や訪問看護は対象外なのか？」「手取りで月2,500円にもならず、1回の夜勤手当より少ない」「回復期病院の介護職やケアマネにも賃上げを」と。また、同法人内の同じ看護師・介護職でも対象となる部署とならない部署があることから、分断を招いていること、全体の基本給の底上げにはつながっていないことを報告、改善を求めた。

愛労連が行ったエッセンシャルワーカーに対するアンケートでは、看護師の81%が「仕事を辞めたいと思うことがある」と回答。日本医労連が全国54,045人から集めた「働くみんなの要求アンケート」では、「生活実感からの賃金不足額」は平均

39,556円となっており、51.2%が「生活が苦しい」と答えている実態を報告し、今回の処遇改善の額では人員確保につながる額ではないとして、月4万円の賃上げを求めた。

厚生労働省からは、医政局看護課、保険局、老健局から4名が参加し、最後にコメントした。「そのような声があることは承知している」「限りある予算の中で優先順位をつけた。予算的に対象の変更は困難」「貴重な声を頂いた。活用状況を調査して、10月に報酬に組み込む際に検討したい」と。引き続き運動を広げ、改善を求めたい。

提出行動には、日本共産党倉林明子参議院議員、本村伸子衆議院議員が同席した。

## 4月25日河村市長に公約を守らせる抗議集会 70人が決起

河村市長が敬老パスの「地下鉄・市バスの乗り継ぎは1回にカウント」と公約して再選された市長選挙から一年目の4月25日、いまだに約束を実行しない市長に抗議するアピール行動が市役所前で行われました。

「敬老パス・地域交通拡充の会」が主催。年金者組合など70人の参加者が、市役所本庁舎にむかって怒りのシュプレヒコールを上げました。

会の丹羽典彦共同代表の訴えに続き、参加した四人の共産党市議を代表して岡田ゆき子議員、愛知社保協の小松民子事務局長、各労働組合代表が激励。「コロナ禍で市バス・地下鉄の利用者が3割も減っている」「敬老パスをもっと活用して高齢者が元気になることが大事」等と訴えました。参加者ガリレートークでそれぞれの思いを訴えました。

「敬老パス・地域交通拡充の会」は、河村たかし名古屋市長に、昨年の選挙で公約した敬老パス制度改善の約束を守りさらに充実させるよう求める署名運動を開始します。とりくみ期間は5月から8月末です。【敬老パス・地域交通拡充の会ニュースより】

## 河村市長は自らの公約に責任もち 敬老パス制度を拡充せよ



名古屋市役所本庁舎前で「市長は公約を守れ」と声を上げる人たち（4月25日）



## 生活困窮、物価高でいっそう深刻に 愛知に電話相談 30 件



4月23日(土)10時～18時まで(全国的には22時)まで、労働会館東館で「第13回目のコロナなんでも相談会」が行われ相談員24人(事務局含む)が参加しました。昼のNHK全国ニュース放映後から電話が鳴続き、「コロナの影響で、この2年間、給料が10万円以上減っている。貯金を取り崩してきたが限界、公的機関の貸付制度はないか」「物価が上がっている。年金生活が苦しい」など、生活相談を中心に30件の相談がありました。【愛労連NEWSNO114より】

# 第48回東海自治体学校

コロナ禍で問われる憲法と暮らし。みんなで学び、交流しましょう！

◇日時 2022年5月15日(日)  
10時から16時半(9時半受付開始)

◇場所 労働会館(コロナ禍により、東館ホールは80名定員とします)

◇資料代 1,500円(障がい者、学生、年金者は1,000円)

◇Zoom 記念講演はZoom併用(午後は講座・分科会によりそれぞれ異なります)

◇プログラム(予定) ★記念講演講師は、現在の状況ではZoomによる報告の可能性が高いです

09:30 受付開始(Zoom参加者は9:00受付開始予定)

10:00 開校挨拶 市橋克哉(東海自治体問題研究所理事長・名古屋経済大学特任教授)

10:15 記念講演「区民・職員とともに築いた区政11年、参加と協働のまちづくりの展望」  
講師 保坂展人さん(東京都世田谷区長)

13:00 講座・分科会受付(Zoom参加者は12:45受付開始予定)

13:15 講座・分科会開始

16:30 講座・分科会終了




**◆事前申し込みが必要です**  
コロナ禍により、定員を制限しています。定員超過の際は、入場をお断りすることになりますので、事前申し込みをお願いします。Zoom参加の場合は、事前にメールでお申し込みの上、4月28日までに入金してください。入金確認できた人に、事前に招待メールを送信し、冊子を郵送します。

**◆当日は、事前検温、マスク着用をお願いします**  
当日体調不良の場合は、来場をご遠慮ください。

**申込書**(なるべくメールでお申し込みください)  
《※右下QRコードからの申し込みも可能です》

氏名 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

参加方法【午前】来場・Zoom 【午後】来場・Zoom ※料金は共通です

弁当(700円) 注文する・注文しない \_\_\_\_\_

午後の参加講座・分科会 \_\_\_\_\_

冊子送付先住所(Zoom参加の場合) \_\_\_\_\_

Zoom参加の際の名前(氏名と異なる場合) \_\_\_\_\_

★Zoom参加の場合、メールでお申し込みの上、4月28日までに入金ください。

◆振込口座◆(自治労連愛知県本部の組合員の皆さんは事前入金不要)  
郵便局 00890-0-41955 東海自治体問題研究所  
三菱UFJ銀行 黒川支店 普通預金 0464121 東海自治研 原 卓郎

